7月号

学校だより

令和8年6月30日
横浜市立南小学校
校長　池田 尚子

達成感を自信に

校 長 池田 尚子

弘明寺商店街のアーケードに吹き流しが飾られ、街のさまざまな場所で夏を感じられる季節になりました。新年度が始まって３か月が過ぎ、どの学級・学年でも目標を立てて、学習や行事などへ一生懸命に励む姿をたくさん見ることができました。

特に、遠足や宿泊行事に向けて、実行委員を中心として準備を進めてきた子どもたちの活躍は本当に素晴らしいものでした。休み時間を惜しんで話し合いを重ねる中で、「協力して」「楽しんで」「自分たちの力で」という一人ひとりの思いをしっかりと形にしてきました。

個別支援学級の「弘明寺公園遠足」では、司会や挨拶ではきはきと話す姿に、繰り返し練習してきた自信が表れていました。２年生の「野毛山動物園遠足」では、実行委員が出発や到着の会を立派に進行していました。また、５年生の「三浦宿泊体験学習」では、全員でオリジナルソングを元気よく歌ったり、キャンドルファイヤーのダンスで盛り上がったりすることを通して、学年の素敵な一体感が生まれていました。そして、６年生の「日光修学旅行」は、これまでの学びを活かした、文字通り「最光」の２日間となりました。実行委員はもちろんのこと、活動班や部屋班のリーダーたちも互いに声を掛け合い、あらゆる場面で責任を果たそうとする逞しい姿が見られました。

学校生活のさまざまな活動や行事では、予定通りに進まなかったり、みんなと意見が合わなかったりすることなど、大変なこともたくさんあります。しかし、この「うまくいかない経験」こそが、子どもたちにとって大きな成長のチャンスです。「困ったな、どうしよう」とみんなで考え、話し合いながら進めていくことや、自分の役割を最後までやりきろうとがんばる中で、子どもたちは相手を理解しようとする優しい心や、あきらめない強い心をじっくりと耕していくのだと思います。ただ「楽しかった！」という思い出だけで終わるのではなく、「自分もみんなの役に立てた」「仲間と一緒にやりきれた」という達成感は特別な喜びとなり、次の挑戦への大きな自信になることでしょう。

私たち大人は、子どもが失敗しないようにと、ついつい先回りしてしまいがちです。けれど、子どもたちが自分で考えて壁を乗り越えていくのを、じっと信じて見守ることも、時には必要なのだと感じています。学校でも、子どもたちの声にしっかりと耳を傾け、一緒に悩み、子ども自身が選択したり挑戦したりすることを全力で支えてまいります。

もうすぐ待ちに待った夏休みが始まります。ご家庭や地域でも、子どもたちの「やってみよう！」という挑戦を、たくさん励まし、応援していただけると幸いです。